

(問題 2 1)

(1)  $f(x) = \frac{\log x}{x}$  の極値を求めよ。

(2)  $a^b = b^a$  を満たす整数  $(a, b)$  ( $a < b$ ) を求めよ。

(問題 2 2)

実数  $a, b, c$  は  $1 \geq a \geq b \geq c \geq \frac{1}{4}$  を満たすとする。

$x + y + z = 0$  となる実数  $x, y, z$  に対して

$ayz + bzx + cxy \leq 0$  が成り立つことを示せ。また、等号が成立するのはどんなときか。

(問題 2 3)

$x^2 + x + 2 = 2\sqrt{x^2 + x + 2 - a}$  が 4 つの異なる実数解をもつための範囲を求めよ。

(問題 2 4)

$f(x) = px^3 - qx + p$  ( $p > 0$ ) は  $x = \alpha$  で極大値  $q$  をもつ。  $\alpha$  の値を求めよ。またそのときの  $q$  を  $p$  で表せ。

(問題 2 5)

$f(x) = \frac{1}{2}x\{1 + e^{-2(x-1)}\}$  とする。

(1)  $x > \frac{1}{2}$  ならば  $0 \leq f'(x) \leq \frac{1}{2}$  を示せ。

(2)  $x_0$  を正の整数とする。数列  $\{x_n\}$  を  $x_{n+1} = f(x_n)$  によって定める。

$x_0 > \frac{1}{2}$  であれば  $\lim_{n \rightarrow \infty} x_n = 1$  であることを示せ。

(問題 2 6)

三角形 ABC は  $AB=5, AC=6, BC=7$  を満たすとする。辺 AB 上に点 P をとり、 $AP = t$  ( $0 < t < 5$ ) とおく。また、辺 AC の C 側への延長上に点 Q を、三角形 ABC と三角形 APQ の面積が等しくなるようにとり、BC と PQ の交点を M とする。BM の長さおよび AQ の長さを  $t$  で表せ。

(問題 27)

不等式  $\sqrt{a^2 - x^2} > 3x - a$  ( $a \neq 0$ ) が成立するとき、 $a > 0$  のときと、 $a < 0$  のときの  $x$  の範囲を求めよ。

(問題 28)

$$f(x) = \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{ax^{2n-1} - x^2 + bx + c}{x^{2n} + 1}$$

について、

- (1)  $f(x)$  が  $x$  の連続関数となるための  $a, b, c$  の条件を求めよ。
- (2) (1) の条件のもとで  $f(x)$  の最大値とそれを与える  $x$  の値を  $a$  を用いて表せ。

(問題 29)

$$\text{極方程式 } r = \frac{b}{1 - a \cos \theta} \quad (b \neq 0, 0 < a < 1)$$

$$\text{が方程式 } \left(x + \frac{2}{3}\right)^2 + \frac{4}{3}y^2 = \frac{16}{9}$$

と一致するように  $a, b$  の値を定めよ。

(問題 30)

$$\text{関数 } f(x) = \frac{1}{1 + e^{-px}}$$

が極値をもつように、定数  $a$  の値の範囲を定めよ。ただし、 $p$  は正の定数である。